

OSAKA
緑のウォーキングリレー2010

西淀川区

第7回 コースマップ

コースDATA

2月6日(日)
集合／御幣島東公園
受付／8:45～ START／9:30～
約10km

¥ 500円(中学生以下無料)

申込電話またはFAXにて受付。FAX申込の場合の明記事項／郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号・FAX番号をご記入の上、下記までお送りください。

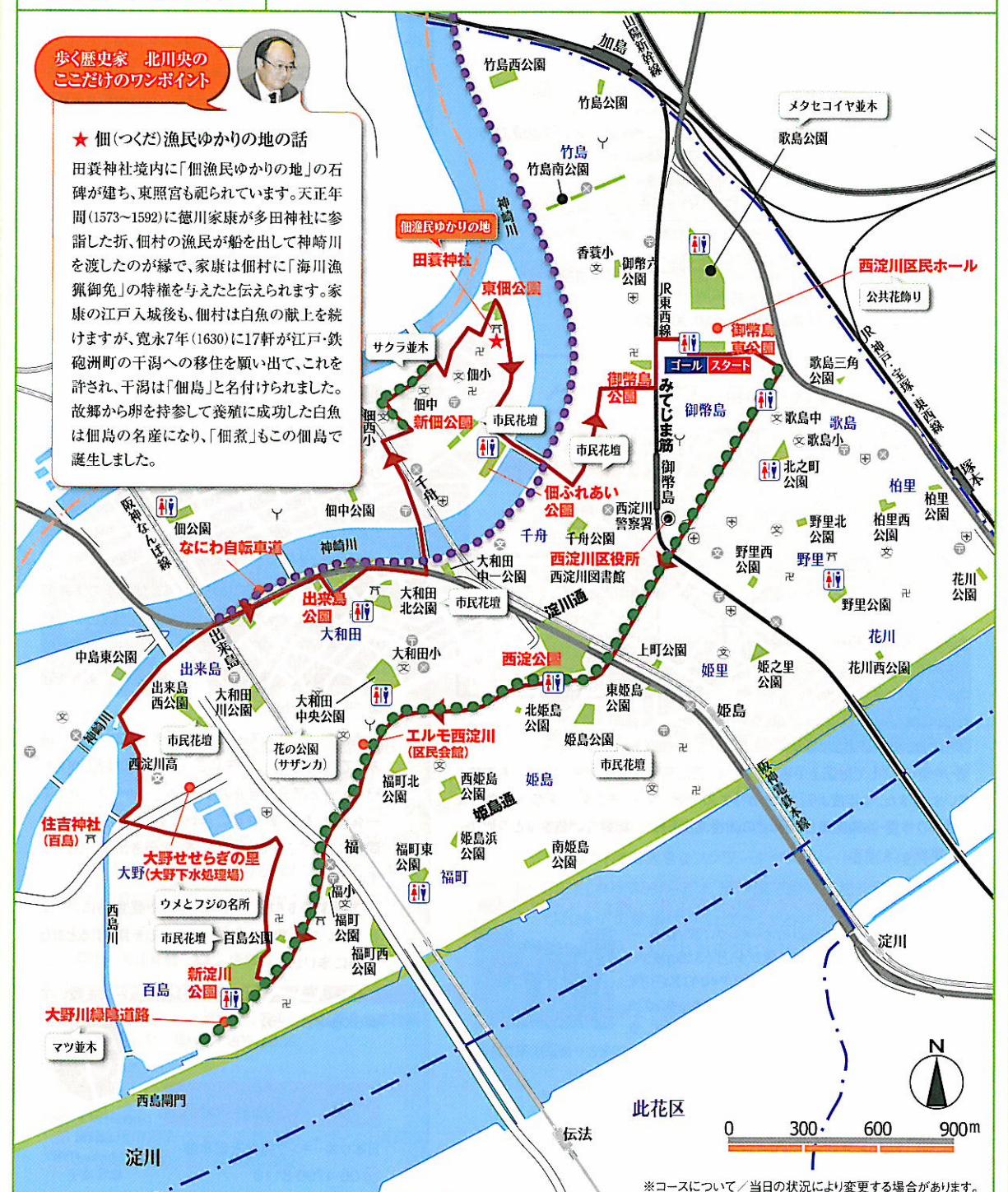
(財)大阪市スポーツ・みどり振興協会 スポーツ企画担当
06-6586-3820 FAX 06-6586-3821

*電話対応は平日の午前9時～午後5時30分まで/FAXは24時間受付

歩く歴史家 北川央の
ここだけのワンポイント

★ 佃(つくだ)漁民ゆかりの地の話

田舎神社境内に「佃漁民ゆかりの地」の石碑が建ち、東宮も祀られています。天正年間(1573～1592)に徳川家康が多田神社に参詣した折、佃村の漁民が船を出して神崎川を渡したのが縁で、家康は佃村に「海川漁獵御免」の特権を与えたと伝えられます。家康の江戸入城後も、佃村は白魚の献上を続けますが、寛永7年(1630)に17軒が江戸・鉄砲洲町の干渉への移住を願い出て、これを許され、干渉は「佃島」と名付けられました。故郷から卵を持参して養殖に成功した白魚は佃島の名産になり、「佃煮」もこの佃島で誕生しました。



● 警察署・交番 ● 郵便局 フ 消防署 文 小・中学校 ○ 高等学校 + 保健福祉センター + 病院 ◎ 市・区役所 □ 神社 △ 寺 —— 区境線 —— 市境線

— 標準コース ■ トレイ 水辺・水面 ■ 公園・緑地・風致地区 ●●● 特色ある街路樹・緑道

*このマップは大阪市ゆとりみどり振興局作成の緑のウォーキングマップを基本としています。

OSAKA緑のウォーキングリレー2010 チャレンジ24 NEWS

参加料の一部が国際貢献に 市民ウォーカーに感謝状

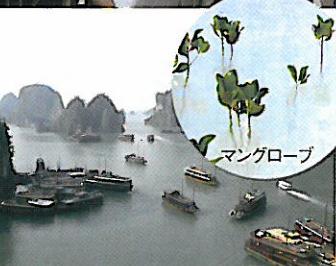
「OSAKA緑のウォーキングリレー・チャレンジ24(以下、チャレンジ24と略)」の参加料の一部が公益財団法人地球環境センター(GEC)に寄付され、国際貢献に役立っていることを受けて、チャレンジ24参加者に感謝状を贈呈するセレモニーが行われました。11月5日、会場となった地球環境センターのフロアは、ウォーキングリレーの参加者や関係者の明るい笑顔と温かい拍手に包まれました。



感謝状と記念品(右から2人目が中西さん)



第2回関係者ワークショップ

4回参加につき、マングローブの
苗木1本の計算に

世界遺産のハロン湾

財団法人大阪市スポーツ・みどり振興協会などの主催で4月29日からスタートした「OSAKA緑のウォーキングリレー・チャレンジ24」。1年間に8区でウォーキングを実施し、3年間で大阪市全区(24区)を歩ききるイベントです。参加には各回500円の参加料が必要ですが、そのうち25円は地球環境センターに寄付され、国際環境協力に活用されています。これまでに実施された3回分は56,025円で、残りは順次寄付される予定です。

市民ウォーカーの代表者として感謝状を受け取ったのは、大阪市平野区在住の中西晴一さん(74)。昨年の第一回大会以来、ほぼ毎回参加されています。中西さんは「ウォーキングではいろんな出会いを楽しんでいますが、世の中の役に立っていると知っていると感激です。今度参加

この寄付金を活用して現在、地球環境センターが実施している支援は、ベトナムの世界遺産であるハロン湾の水質保全につながる事業。マングローブの植林や水上生活家庭のごみ分別ボックスの購入に向けての計画を着々と進めています。



水質モニタリングのデモの様子

する際には、その場で知り合った仲間にも教えてあげようと思います」と話されていました。

なお参加費の中から、さらに25円が国連環境計画 国際環境技術センター(UNEP/IETC)へ寄付され、プラスチック廃棄物資源化プロジェクトに用いられます。プラスチック廃棄物をリサイクルする活動で、経済活動を促す燃料等を生み出しています。資源保全にも大きな潜在力を秘めています。

あなたも参加し世界の環境保全に貢献を

